

児玉：堆肥はどこですか？

市橋：堆肥？あ、堆肥！私の自慢の堆肥ね！こっちこっち見て見て〜！

本原：自慢の堆肥？

市橋：どうぞどうぞ、ベランダへ。そこにあるスリッパ履いてね。

これこれ、見て下さい。

本原：なにに？コンポストやってるの？

市橋：コンポストってか、本当にゴミだけです。こっちが今入れてるやつで、こっちはもう少し進んで、今もっと再生ってか熟成しているのは、ほとんどが土になってる。

本原：すごい、すごい。

市橋：被せてあった布なんかもどんどん分解されていっちゃうんです。

本原：土はえらいよね〜。

児玉：すごいです。

市橋：この分解の能力に驚いてる。

本原：いやーアスファルトひっくり返したいよね〜

市橋：土は一回だけ買ってきただけで、後はもう全部使い回しで。でも、よく聞く森の匂いってのがなかなかわからなくてね。

児玉：いや〜もうこれ森の匂いっしょ。

本原：え〜！ねえ、毎日かき混ぜてんの？

市橋：ほぼ毎日捨てるからかき混ぜてるね。本当にちょっと細かいのが残るけど、増えるって感じじゃないよね。ウジもわからないし。匂い(腐敗臭)もしないから。

古橋：これだけ高いマンションだと虫もこないしね。

本原：高いとこないか。

児玉：そういうこともあるんだ。

本原：いい匂いしょ？それ。

児玉：いい匂いした。いい匂いした。山の匂い〜。するする〜。

市橋：山の匂いってどういう匂いだろ？って。でも見事に分解していくもんだからとにかく驚いているの。

本原：驚くね〜。だって無くなっちゃうんだもんね。え、でも、もやしの芽とか出る？

市橋：種のものは芽が出るね(笑)

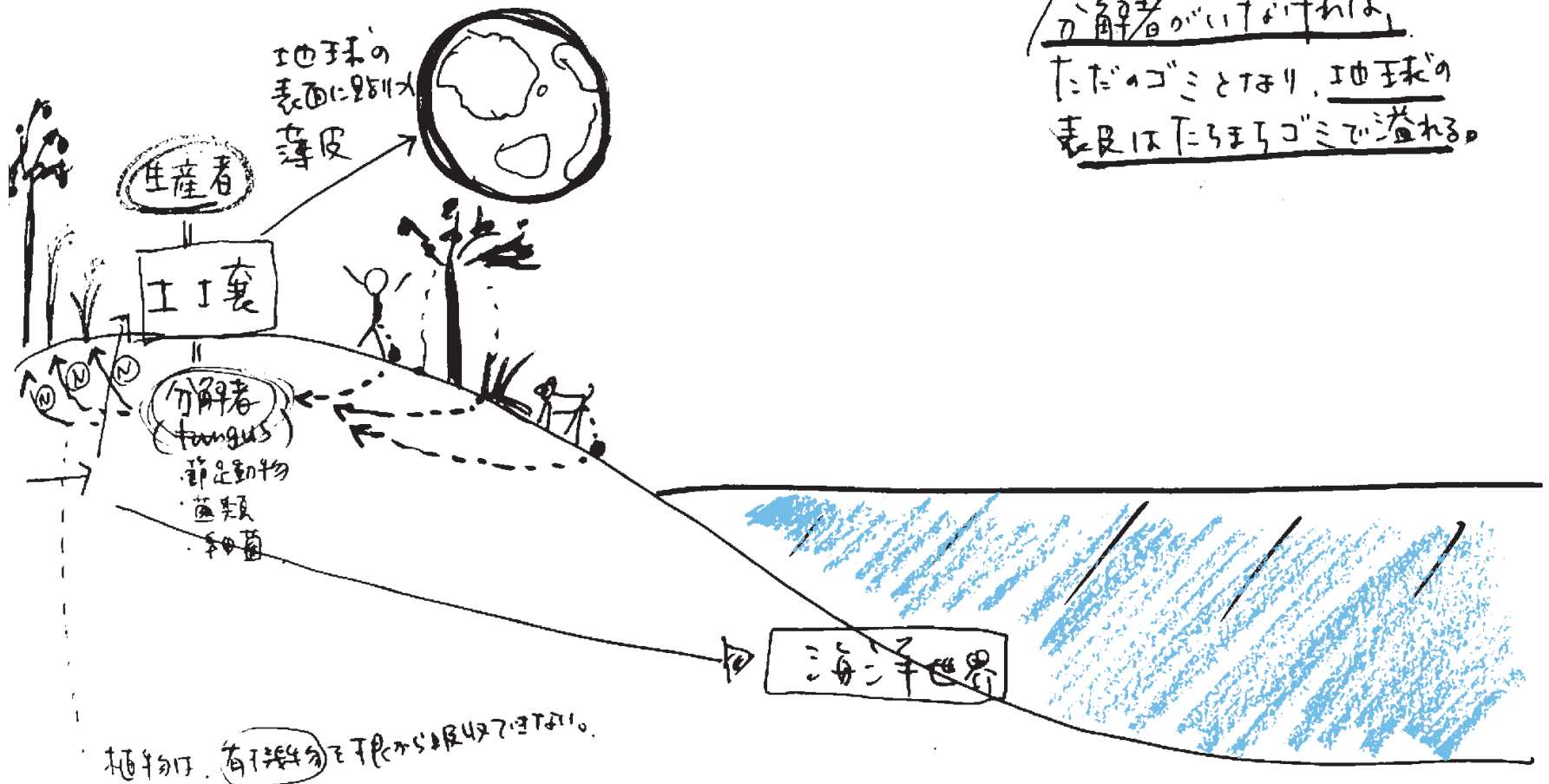
児玉：だんだん出てくるね(笑)

市橋：去年の10月ごろから始めて、生ゴミは出してないもん。

古橋：出ないよね！

本原：私も2008年から生ゴミは出してない。全部うちの庭。たいして広くないのに、無くなっちゃいますよね。

市橋：ネットで見たんだけど、この辺の古い土を混ぜ込んでいけばよくて、こうしてずうっと循環させてればいいって。ゴミは意外と増えないの。放り込んでも放り込んでも。だから土が増えて困るってこともないのよね〜。



分解者がいなければ、
ただのゴミとなり、地球の
表面はゴミで溢れる。